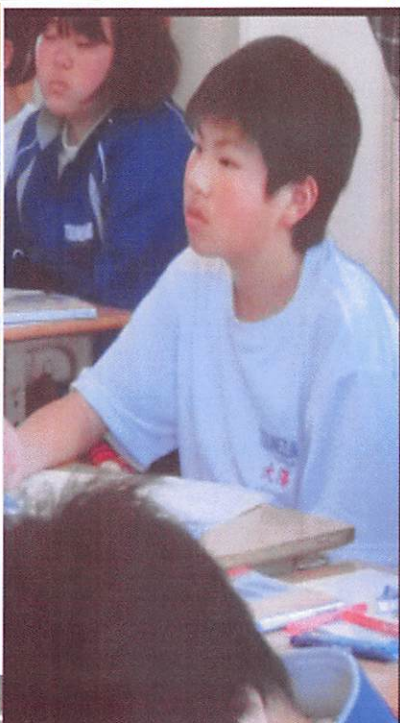


平成27年 5月18日 NO・25

〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
 TEL029-269 -2116 FAX029-269 -3160  
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp  
 【ホームページで、カラー版が見られます】

# 学ぶ目 「基本は、目で聴く」



—7—5—=—1—2  
 『皆が2年後に、茨城県の県立高校の入学試験を受けるとき、この問題が、大問1の(1)の問題として出題されます。これができると4点です。高校入試の問題というのは、特別な問題が出題されるのではなく、普段学習している内容が出題されます。もちろん、7とか5とかの数字は変わりますが、数字は2つ。同じような問題が出題されるという意味です。』

書くときは書く。鉛筆の音だけが響く。



本時の学習の目標は、『項の考えを使って計算することができる。』でした・・・。

1年生の教室では、大貫先生の熱の

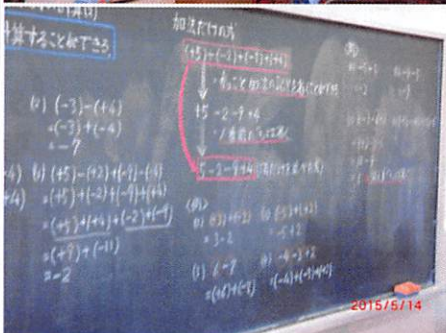
入った話が続いていた。

上記の写真を見ると、感心させられることに気付く。

説明を聴く生徒たちの目だ。

人の話を聴くときは、話者を見る。基本的に話を聴く間ノートはとらない。うなずきながら聴く。それができている生徒たちの目がすてきだ。

4つの小学校からやって来て、1か月が経った1年生たちにもだいぶ定着してきた。是非とも全員に定着させたい。「話は目で聴く」が合い言葉。



## 人の心を明るくする挨拶

今と受合言しよ先  
 後あ陸さけ陸つとたそ高う部生陸  
 もる上わ`上て言のの星ご員が上  
 磨`部や高部い葉だ後先ざた通部  
 き人のか星員たをろ生先いちりの  
 をの子に先た。交う徒のまがか朝  
 か心らな生ちわ。たす気か練  
 けをもた一のしとと顔す気か練  
 て明ちこの日笑、さも高顔挨拶「高星先生、おは  
 るくるとの顔ら樂星が挨拶「高星先生、おは  
 たい。常う1る夕明るしうは、に何  
 「挨拶」に誇りき挨拶をい三話